

植物多様性センターの「花までネコノシタ？」

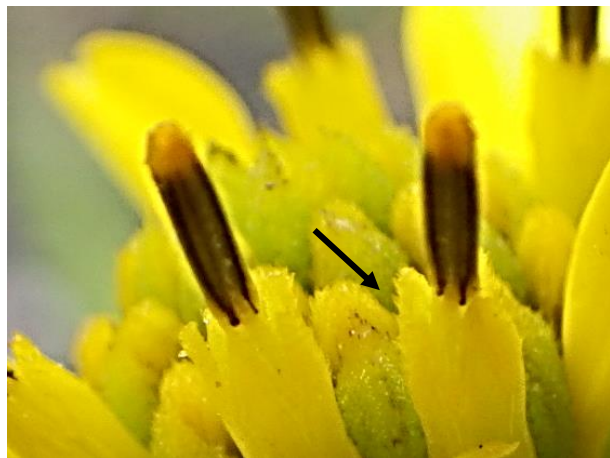
海岸植物のキク科のネコノシタの葉が厚くてザラザラなのは、海岸特有の強い紫外線や潮風などから、植物体を守るためと考えられています。ところが咲き始めたネコノシタの花を見てびっくり！なんと花びらにもトゲトゲの剛毛があるではありませんか。しかも舌状花と筒状花の両方です。花も過酷な環境に耐えて生き残っているからなののでしょうか？それとも花と葉は同じ起源なので、その剛毛が花にも残っているのでしょうか？



ネコノシタの花：外側に舌状花、中心に黒く見えるのは筒状花の葯筒



舌状花の縁の剛毛：花弁外側の縁に沿って剛毛が並ぶ



筒状花の縁の剛毛：筒状花の5裂した花冠の縁にも剛毛がある



葉のざらざらした毛：両面に短いトゲ状の剛毛がある(円内：断面)